


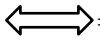

令和6年度 江戸川区立大杉小学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置付ける。		自分の大切さや他の人の大切さを認められるようにする。		一人一人が何事にも全力で取り組み、それぞれが力を発揮しながら活躍できるようにする。				6年間の学校生活を振り返らせ、中学生になるという意識付けや準備を行わせる。		
各教科・読書科	国語「言葉で伝え合おう」 スピーチや短作文の良い点を相手に伝える活動を通して、的確に話す能力や相手の意図をつかみながら聞く能力を身に付けさせる。	国語「グループで話し合おう」 互いの考えや意見を述べ合い、まとめる活動を通して、自分と人の共通点や相違点に気を付けながら話を聞き、話し合い、結論を出す能力を育てる。	理科「体のつくりとはたらき」 生きていくための体の仕組みを調べ、生命を尊重しようとする態度を身に付けさせる。	社会「人々の身分とくらし」(同和問題) 身分制度のもとで差別されてきた人々は、農業や手工業、芸能、治安などを担い、社会を支えてきたことを理解させる。	社会「新しい学問」(同和問題) 差別されてきた人々の優れた技術が医学を支えていたことを理解させる。	社会「世界に歩み出した日本」(同和問題、女性) 民主主義への意識が高まる中、女性の地位向上を目指す運動が進められたり、全国水平社が結成されたりしたことを理解させる。	体育「ソフトバレーボール」 チームで協力して運動することを通して、他者を理解したり、相手の気持ちを考えた発言をしたりする態度を身に付けさせる。	体育「病気の予防」(HIV感染者、ハンセン病患者等) 病気の予防について正しく理解し、エイズ患者や HIV感染者等に対する偏見や差別、それらを解消する取り組みについて理解させる。	社会「私たちのくらしと日本国憲法」 憲法の基本的人権の尊重についての理解を深めさせる。	理科「生物と地球環境」 生物と環境の関係を調べ、生命を尊重しようとする態度を身に付けさせる。	家庭「伝えよう、ありがとうの気持ち」 自分の成長を喜び、感謝の気持ちをもたせる。
特別の教科 道徳	社会的役割の自覚と責任 法やきまりの大切さを理解し、自分に課された義務をしっかりと果たす態度を養う。	男女の協力 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力しようとする態度を育てる。	思いやり・親切「高齢者」 高齢者に対する偏見を改め、高齢者に親切にしようとする心情や態度を育てる。	尊敬・感謝 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝する態度を育てる。	家族愛・感謝 家族の幸せを求めて、進んで役に立とうとする態度を養う。	勤労・奉仕 勤労が社会生活を支えるものであることを理解し、社会に奉仕し、公共のために役立とうとする心情を養う。	公正・公平「障害者」 一人一人は平等な存在であるとの自覚を深め、偏見や差別を解消しようとする心情を育てる。	国際理解と親善「外国人」 外国人に対する偏見や差別意識をもつことなく、外国の文化を大切に育む。	信頼・友情 友達同士互いに信頼し、協力しようとする態度を育む。	個性の伸長 自分の特徴を知って、よいところを積極的に伸ばそうとする態度を育てる。	生命の尊重 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命の尊重しようとする態度を育てる。
総合的な学習の時間	全員プラスバンド 運動会、地域のパレードに向けて全員で、協力して練習し、自他の良さを認め合えるようにする。		障害について学ぼう(障害者) 障害のある人とともに支え合い、生活しようとする態度を養う。		オリパラについて考えよう(障害者) 障害者との交流や障害者スポーツの体験等を通して、障害者やオリパラへの理解を深め、自分にできることを主体的に考え、行動しようとする態度を養う。			感謝の気持ちを表そう 謝恩会の準備等を通して、お世話になった人へ感謝の気持ちをもたせる。			
					全員プラスバンド 協力して練習し、自他の良さを認め合えるようにする。			プラスバンドを引き継ごう 5年生へ引き継ぐ活動を通して、協力して助け合うとする態度を育てる。			

								度を育てる。			
特別活動	最高学年として 学級目標や自分のめあてを考えさせる。			1学期の振り返り 1学期を振り返り、自分や友達の頑張りや活躍を認め合えるようにする。	2学期のめあてを考えよう 1学期の反省を生かし、2学期のめあてを考えさせる。	学級目標について振り返ろう 学級目標について振り返り、よりよい学級にするために考えさせる。		人権標語の作成 「子供」 お互いの大切さをテーマに作成し、自他の人権を尊重する態度を育てる。	ありがとうの木 友達にしてもらって嬉しかったことを紹介し合い、友達に親切にしようとする心情を育てる。	これからの自分「女性」 これまでの自分を振り返り、これからの自分について考えることを通して、自分を大切にすることを育てる。	卒業関連行事 これまでの自分を振り返り、自分の成長に気付きくと共に、周りの人へ感謝する態度を育てる。 
	1年生を迎える会 1年生の入学を祝う気持ちをもたせる。 保護者会 学校の人権教育の目標や方針について説明する。	運動会 協力して演技等を行い、互いを信頼する気持ちを育てる。 中央地域祭り				大杉まつりに向けて 出し物の準備を通して、協力して助け合おうとする態度を育てるとともに、地域への愛着をもたせる。	大杉芸術祭 作品鑑賞や発表を通じて、自分や友達の良さを認め合う。	奉仕活動 協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を養う。			謝恩会 これまでお世話になった人へ感謝の気持ちをもたせる。
その他	読み聞かせ（保護者との交流） 考える力、感じる力、表現力を育てると共に、豊かな情操を育てる。										

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。